



株式会社J.G.コーポレーション 代表取締役社長

渡邊秀太

業界では古くから業務用空気清浄機のジャンルで高い知名度を誇るJ.G.コーポレーション。今年6月、新社長に渡邊秀太氏が就任した。屋内禁煙化、コロナ禍と当社にとって大きな環境変化を受けて変革期を迎えている中で、今後の舵取りの方針、業界に対する想いなどについて、渡邊新社長に聞いた。(文中・敬称略)

—— 社長就任後の心境をお聞かせください。

渡邊 空気清浄機はもともとタバコの煙や臭い対策で需要が生まれた製品です。2020年4月の改正健康増進法の施行で屋内禁煙化になったことが、会社にとって最大の転機になりました。タバコ対策の需要に頼らない会社に変わっていかざるをえなくなった中で、世代交代も含めて社長就任することになりましたが、やはり世の中が環境変化しているタイミングで会社を次のステップに進めることが私に課せられた使命だと考えています。会社に変革期を迎える中では変化に対する抵抗もあると思いますが、まずは変わっていかねばなりません。

—— 渡邊社長のこれまでの経歴をお聞かせください。

渡邊 大学卒業後に計測・制御機器メーカーの山武(現アズビル)に入社して10年間、ビル空調や工場の制御機器などを扱う仕事をしておりまして、2015年にJ.G.コーポレーションに入社しました。

—— 御社は業界で古くから空気清浄機で広く知られています。業界にはどんな印象をお持ちでしたか。

渡邊 入社するまでパチンコ業界に携わる機会がなかったので、新鮮な

ほど強力でもよくくなりました。そこで必要最低限の換気に抑えつつ空気環境も保全しながら、電気料金を抑える禁煙ホール向けの新システムが「NOAH Evolt」になります。オプションでEMS(エネルギーマネジメントシステム)を組み込んで換気以外の部分の電力量を見える化したり、デマンド制御を組み込んだシステムへのカスタマイズにも対応できるなど、発展性を持たせたシステムになっています。



—— 中長期的な目標をお聞かせください。

渡邊 対外的にはまず、空気清浄機のイメージをタバコ対策からウイルス対策へ変えることです。会社のイメージも「空気清浄機のJGC」から「空気環境のJGC」に変えていく。そのためには商材だけでなく、メンテナンススタッフなどによるフォロー体制をもっと充実させて、お客様の信頼を獲得していきたいです。また社内的な目標としては、チームで連携してアイデアを出し合いながらお客様と価値を作っていけるような組織づくり。弊社はベテランが多く、



ファン内蔵型「スカイフレッシュ」エアクリナーシリーズ/天井埋込型・標準タイプ

気持ちだったことを覚えています。過去には専門性の高い業種も見てきました。それ以上に弊社が業界で高い評価をいただいていたことに誇らしさを感じていました。

—— 御社は幅広い業種へ製品提供されていますが、中でも業界の市場状況はいかがでしょう。

渡邊 入社時は業界内シェアで3~4割程度あったと思いますが、やはり屋内禁煙化の影響は大きかったです。世間で空気清浄機の必要性が謳われていた反面、禁煙化でタバコ対策が不要になったので空気清浄機も必要ないといった紙一重の部分もあつたと感じています。ただし空気清浄機はタバコの煙対策の専用用品でなく、ウイルス対策や除菌対策にもマッチします。禁煙化前もその点は

同じで、コロナ禍だからというわけではありません。昨年、日本電機工業会規格に基づき、ウイルス除去性能試験を実施したところ、30分後に99・98%の減少が確認されました。今は、せつかく設置されている空気清浄機を有効にご活用くださいという提案活動しております。社内でも「タバコ対策からウイルス対策製品へ」という意識改革を促して、さらにお客様の空気環境をトータルで考える会社となるよう、日々努力しています。

—— 御社が標榜している「空気環境トータルソリューション」ですね。

渡邊 空気清浄機を売ってメンテナンスするだけの時代は終わったと数年前から社内が発信していて、企業



● 換気自動制御システム「NOAH Evolt」
室内や設備にセンサーを配置し、ホール内の空気環境を監視。無線のためセンサー類の追加や位置変更が容易。相反する空気環境保全と電気料金削減を実現する

理念にも「室内の空気環境を考える会社」とあります。もともと空気清浄機が効果を発揮するには十分な換気も必要ですから、例えば換気自動制御システム「NOAH」の提案。また換気設備の更新、設置に伴う選定などのコンサルティング的なこともやっています。また衛生面では、空気清浄や除菌のジャンルで様々なメーカーの商品を取り扱っていて、ホール様の空気環境を改善するためのノウハウはすでに蓄積されています。空調関連でもお取引先様が多いので、そうしたところとも連携しながら、空調・換気・衛生をはじめ空気環境に関するお困りごとは何でもやりますよ。空気環境のトータルソリューションカンパニーになると、全社員に浸透させています。

—— ちなみに、換気自動制御システム「NOAH」は2019年に、「NOAH Evolt(ノア エボルト)」として再リリースされています。渡邊 「NOAH」は空気環境を保全しながら省エネするシステムでしたが、屋内禁煙化によって換気はそれ

渡邊秀太(わたなべ しゅうた)
1982年東京生まれ。渡邊秀一郎前社長(現会長)の長男。大学卒業後に山武(現アズビル)に入社したのち、2015年にJ.G.コーポレーション入社。2022年6月、代表取締役に就任した。家族は妻と子供2人。

昔からOJT(職場での実践で身につける業務知識)重視でやってきた会社ですが、やはり時代的にもそれだけでは難しいところがあります。私自身も、特に現場での学びや経験は重要だと考えておりますが、OFF-JT(職場から離れた学習)を融合させて組織立った教育も組み込むことで、より高いレベルで知識やスキルの向上を目指していきたいと考えています。

—— 業界に対してメッセージをいただけますか。

渡邊 弊社も禁煙化とコロナ禍で転換期を迎えておりますが、業界の皆様は遊技機規制などもっと大きな壁に立ち向かわれております。今業界は変革期にあります。やはり業界のイメージ向上が今後テーマになると思います。ここ数年でホール様の空気は非常に綺麗になっています。さらに、空気環境のアピールはイメージアップに必ずつながると思います。弊社はパチンコ業界に育てていただいたといっても過言ではありません。業界が過渡期にある中、弊社も空気環境のトータルソリューションを通して、「業界になくてはならない存在」を目指し、お客様に貢献できるように今後もより一層努力していきます。